

理学部に関する活動

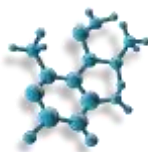
ここでは、昨年度から行っている理学部に関する活動を紹介します

フォーリンラボ 理学部研究室紹介冊子『4理inLAB』



学生自治会は、「研究室についての情報が少なく、進路を決定できない現状を改善するために理学部特有の研究内容を紹介し、理学部の学生が進路を決めやすい環境にすることを目的に、理学部の学生が研究室に対して具体的なイメージが持てるような情報をまとめた冊子『4理inLAB』^{フォーリンラボ}を発行し、今年度前期に理学部の1～3回生に配布しました。

この『4理inLAB』^{フォーリンラボ}が、実際に研究室を決定する際にどういった点で参考になったかを確認するため、評価アンケートを研究室に配属された理学部の3回生を対象に配布します。配布時期は、各学科の研究室配属の時期に合わせて、情報数理科学科・分子科学科・生物科学科は2011年12月から、物理科学科は2012年4月からとなっています。



履修モデル改善活動

学生自治会は、「現在の『履修の手引』の説明が分かりにくいために、時間割を立てるにあたって理学部の学生が抱える疑問を解消し、より自分に合った時間割を組むことができるようにする」ことを目的に、昨年度後期に教務グループ理学担当と話し合い、新入生に配布される履修モデルを改善するように要請しました。

しかし、その改善が一部の学科において不十分であり、今年度の1回生から「履修モデルが使いづらかった」という意見が寄せられました。そこで、来年度の自然科学類（生命環境科学域）の履修モデルをよりよいものとするため、学生から寄せられた意見をもとに、学生自治会では履修モデルの改善案を作成し、それを参考に、再び大学の教務グループ理学担当と話し合いを行いました。その結果、大学側から「来年度以降の履修モデルを学生自治会からの改善案に沿った形で作成する」という回答を得ました。

